

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達LABO.Proリハ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 13日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 1月 13日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の中で事業所を好き、楽しみにしている児童が多いひとりひとりに合わせた個別療育ができる。運動療育と机上での学習や集中して取り組む療育が実施できる。	好きな事楽しいことの中で新しいことや苦手な要素を取り入れ、「楽しい」と思える環境作りや成功体験を積みながら少しずつ取り組めるプログラムを実施している。	遊びのレパートリーを増やす(外部講習、書籍、物品管理など) 職員の研修や経験の機会を増やす
2	専門的知識のある職員が支援計画に沿った療育を行っている。	個別療育では療育毎にプログラムの打ち合わせや集団療育では振り返りの時間を設けて共通理解を図り、さらに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士からのアドバイスがある。	研修等でより深い知識を得たり、職員間のミーティング等で共通理解を築き、療育内容を深めていく。
3	家族が送迎してスタッフと顔合わせすることや、家族が療育の場を見学したり、実際参加してもらう事で、家族からの相談やお子さんの特性理解の時間を大切にしている。	保護者や家族が今何に困っているのかをその都度傾聴し保護者や家族に寄り添う時間を設けている。	保護者や家族とお子さんの橋渡し役になれるように相談援助の研修等に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	担当制のため支援者が同じ人になりやすく、同じプログラムになりやすい。	スケジュールの関係で担当者だけでなく補助の支援者も同じ場合が多い。	スケジュール調整をして普段と異なる支援者を意図的に作る。
2	他の事業所との交流や保護者間の交流が少ないため閉鎖的である	個別療育を実施していくうえで、他の事業所との交流や保護者間の交流についてのニーズを聞き取ることが少ない	保護者評価や事業所用自己評価シートを活用して、保護者間の交流や他の事業所との情報共有などのニーズを広い、次年度に生かしていく。
3	スタッフによって専門知識にばらつきがあり、情報共有の難しさを感じることもある。	日々の療育への時間に追われるため、法人内外での研修に時間を当てるのが難しい。	スケジュールの見直しや業務改善を行い、スタッフ全員が無理なく研修等が受けられるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こども発達LABO.Proリハ				公表日	2025年3月1日		
						利用児童数	56	回収数	24
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
									環境・体制整備
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	0	2人で療育して下さるのでありがたいです手厚く配置してくださっています指導する先生と補助の先生とでしっかりとみていただいている。	ご意見ありがとうございます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	3	0	1	バリアフリー化はされていない様に思います。玄関の段差が特に危険だと思います。部屋に名前があり活動の切り替えがしやすくなっている。	ご意見ありがとうございます。建物の構造上完全なバリアフリーに出来ないため、段差や階段などは職員がついて対応します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2	0	0	消毒もこまめにされていて清潔だと思いますアルコール消毒や検温などもしていただいている、物も片付いている。	ご意見ありがとうございます。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	3	0	1	机上課題の時は次に進むペースが少し早いように感じます。モニタリングや家庭での様子、子どもの得意なこと苦手なことをふまえて療育をしていただいている。	ご意見ありがとうございます。それぞれのお子様に応じて速さや回数などを調整しております。気になる点などは是非療育後の振り返りの際ご相談ください。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2	0	5			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	2	0	2			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	0	2			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	2			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	3	0	3	色々トライさせてもらいたいですが	ご意見ありがとうございます。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	3	2	2			
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	1	9	ペアレントトレーニングではないが研修会の情報はもらっています	ご意見ありがとうございます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21	2	0	1	療育の様子を見ていなくてもお迎えの際に活動内容を口頭や写真、動画で教えていただくことができています。	ご意見ありがとうございます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	4	0	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	0			

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	6	7	7		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	4	0	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	7	1	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	3	1	16		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	3	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	5		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1	0	1	とても楽しく通所しています	ご意見ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達LABO.Proリハ		公表日		2025 年 3 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	療育中の危険管理について療育プログラムを変更して安全管理に留意しています。	適切に予定配置していますが、体調不良などの急な休みについての対応など相互理解を必要とする必要がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	壁面にあまり掲示物を貼らず刺激を抑え、部屋にカードを貼ったり、並ぶための視覚支援など行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	5	療育の振り返りやスタッフミーティング等で業務改善について検討しあっている	担当制のため利用児童全体の把握を各職員が把握できる工夫が必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	法人HPに支援プログラムが公表されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	保護者に書面で就学前までの療育報告書を作成し保護者を通して就学先の学校に情報共有は図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	5		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	4		管理者・児童発達支援管理責任者が利用者に説明しているが、質問があれば対応できるように各職員も周知が必要。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	2	個別支援計画の説明と同意は児童発達支援管理責任者が行っています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	紙面での発行はありませんが、定期的にブログやInstagramにて発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	3		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	2		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0			